

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項に準ずるが、児童である年齢を考慮のもとに競技を進行する。
2. ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。
跳躍種目はこの限りでない。
3. ウォーミングアップ場所について
 - ①練習は、雨天練習場を使用する。
 - ②競技場バックストレート2～8レーンを11時30分まで使用可能とする。
 - ③投てき練習は、競技開始前に、フィールド内で主任審判の指示により行なうこと。
※アナウンスに注意すること。
4. 招集について
 - ①招集所は、メイン競技場第4ゲート付近の場外に設ける。
各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。
 - ②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係より最終点呼を受け、ナンバーカードの点検確認を受けること。
リレーメンバー(全員)は招集所内に待機し、点呼を受けること。
 - ③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ④他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。
5. 競技場への入退場について
入退場は競技役員の指示に従い行ってください。
監督・コーチ・報道・選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。
また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。
ただし、各チーム監督、コーチ3名の入場を許可する。その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。
6. レーン順・試技順について
 - (1)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
 - (2)欠場者のレーンはあけます。

7. 競技方法について

- ①短距離のスタートは、スタンディングスタートを認めます。
- ②スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。
- ③80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

- ④800mはオープンレーンで実施します。
- ⑤リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。

リレーのユニフォームは揃えるようにする。
マークのテープは各チームで準備したものを使用すること。
また使用後のテープは必ずそのチームの選手が外すこと。

リレーオーダー用紙の提出締め切り時間を12時とします。

リレーオーダー用紙は情報処理室に提出すること。

オーダー用紙は受付の時に受取る事。

2018年度から、リレーのルールに変更がありました。

※オーダー用紙は、一度提出したら締め切り時間前でもメンバーや走順の変更ができなくなりました。

※4×100mRのバトンゾーンが30mになりました。

- ⑥走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。
- ⑦ジャベリックボール投の競技方法
全員3回の試技とする。主催者が用意した器具を使用する。
やり投に準じて行うが、助走距離は15m以内とし、距離の計測は器具が最初に地面についた地点から計測する。羽を持つての投てき、回転投げを禁止する。
※ジャベリックボール投げで、8位までの入賞者は表彰を行いますので競技終了後に正面ロービーに集合して下さい。

8. チーム（学校）控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実にこなすこと。

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

9. 個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

10. その他

競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人（保護者・申し込み責任者）の責任において処置すること。